

## 鹿角市の入札制度について

契 約 検 査 室

### 【入札案件全般】

基 本 方 針：市内事業者の永続的な発展及び市内経済の循環等を踏まえ、市内業者を主に発注業務を行っている。

入札対象案件：建設工事（修繕含む）、建設コンサルタント業務、役務業務、物品購入・賃貸借

入札方法・入札契約手順：別紙「資料 2-1、2-2」参照

入札契約実績：別紙「資料 2-3」参照

執 行 方 法：電子入札システム（県のシステムを県内 14 市町で共同運用）

※建設工事及び建設コンサルタント業務等（入札対象業者が 1 者でもシステムに登録されていない場合は紙入札（郵便等入札）で対応）  
紙入札（郵便等入札）→上記以外の全ての案件

### 【建設工事関係】

市登録業者数：建設工事 61 社（建設コンサルタント含まず）

うち、電子入札登録業者 53 社

登録工種 19 種（建設コンサルタント含まず）

※業者登録状況等は別紙「資料 2-4」参照

決裁権者：鹿角市事務決裁規程（昭和 48 年規程第 12 号）（別紙「資料 2-5」参照）

業者選定：鹿角市競争入札等事務処理要綱（平成 22 年訓令第 71 号）

第 8 条及び第 9 条関係（別表 1）等級別発注標準表により選定

入札方法：条件付き一般競争入札（設計額 130 万円を超える案件）

指名競争入札（（設計額 130 万円以下）

最低制限価格制度・低入札価格調査制度：詳細は別紙「資料 2-6」参照

予定価格調書作成方法：標準的な作成例

最低制限価格制度を適用する工事

→決裁権者が「予定価格」、「入札書比較価格」を確認し、作成日・記名押印して封書。

※最低制限価格について、予定価格調書とは別に契約検査室が開札前に最低制限価格を算出し、最低制限価格計算表を作成するため、決裁権者の最低制限価格の確認は開札後の契約締結同時としている。

低入札価格調査制度を適用する工事

→決裁権者が「予定価格」、「入札書比較価格」、「調査基準価格」を確認し、作成日・記名押印して封書。